



経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3133日原発再稼働糾弾!

第310号

編集・発行

テントひろば運営委員会

【東電刑事裁判】最高裁の上告棄却決定 3月5日 東電旧経営陣の「業務上過失致死」を認めず

2011年の福島原発事故が発生してから1年間、検察は東京電力の事故責任を立証しなかった。これに対して、福島県の住民ら約1万4千人が東電幹部の刑事責任を検察に告訴し、検察審査会の2回の議決を得て、2016年に強制起訴。それからの9年、地裁、高裁そして最高裁での裁判闘争では、東電が巨大津波を無視して運転を継続してきたことなどが明らかとなって、多くの民事訴訟の勝利に寄与してきた。☆

東電旧経営陣へ15.7mの長期予想も伝わっていた以上、防潮堤工事や浸水防止工事などを実施すべきであったと指摘。それに対して地裁・高裁の判決では、「事故には間に合わなかった」と判断して、事故を止めるには「原発を止めるしかなかった」と論理を展開し、「原発を止めるという『現実的な可能性』を被告らは認識できなかった」とすることで無罪とされた。「津波の正確な予測」ができれば、誰の責任も問えないのだろうか。

草野裁判官の補足意見には、「地震本部の長期予測は見過ごすことのできない重みがあったこと」、「東電は耐震安全性評価をして国に報告することが求められていたのに、2年10か月以上報告を怠った」、「もし速やかに報告し、国が対策を命じておれば事故を回避できた可能性があった」とある。

脱原発・放射能汚染を考える北摂の会
「脱原発・放射能汚染を考える」No335(3月24日発行)より抜粋

勝てる事件を勝ちきれなかった

過去最長の9年半、検察官役の指定弁護士を務めた石田省三郎弁護士(78)は、共同通信の単独インタビューに応じて、裁判の意義、制度の課題など、以下のように語った。 3/27 9:32 配信より
公判の「ハイライト」と位置づけた被告人質問も「(知っていたのに)知らんふりをしたという印象を与えられれば良かった。尋問としては成功だったと思う」と一定の手応えも感じた。だが、裁判所の認定では、一審でも二審でも有罪判決を得られず、上告した。

最高裁は今日5日、上告を棄却する決定をした。「結局、見方や考え方の違いだけの問題に収斂されてしまい、極めて不本意だった。われわれの立証のどこが足りなかったのかも書かれていなかった」、そして草野耕一裁判官が別の起訴内容について「犯罪の成否を論じる余地があり得た」と言及する異例の意見を出した。 ↗

しかし、石田弁護士は「(起訴内容は)検審の議決の範囲内で構成しなければならず、限界がある」と反論する。

旧経営陣の裁判で出てきた証拠は民事裁判にも生かされ、福島の住民らも「知らないことが明らかになった」と意義を強調する一方、「実務家としては裁判は勝たなければ意味がない。検審が示した民意を実現できなかったことに責任を感じている」と残念がった。
(以上は要約)

経済産業大臣 武藤容治様などへの申入れ

2025年3月16日

経済産業大臣 武藤容治 様・経産省の皆様

・資源エネルギー庁長官 村瀬佳史 様・資源エネルギー庁の皆様

黒田節子(原発いらね! ふくしま女と仲間たち)

申入書

1. 原子力を使ってはなりません

原子力(核)は人類の手に負えないものと分かりました。私たちには共存共栄の知恵と哲学がまったく足りません。科学技術のみが発展し、地球上の生命を何回も滅ぼす「技」だけが突出しています。原子力は自らの首を絞めるだけです。即刻、原子力を手放すしかありません。

2. 持続可能な再エネ中心社会へ

原子力発電から再生エネルギーへの切り替えの、そのスピードアップを真剣に図ってください。地震大国日本は、持続可能な、未来を見すえたエネルギーを!

3. 化石燃料、特に石炭火力からは早期の脱却を

「カーボンニュートラルのために原発を!」は、間違っています。水素・アンモニア・CCS(CO2の分離・回収・貯留の技術)は、まやかしの「脱炭素」政策推進であり、むしろ火力を延命させ、気候変動対策を遅らせるものです。

4. 市民に開かれた政策決定を

エネルギー政策は最も重要な国の政策の一つです。それを内閣だけで決めるようなことがあってはなりません。民主主義社会では、丁寧な議論と広い共通認識が必要です。

5. アジア・太平洋諸国と協調して脱原発を

「核」は国境を軽々と超えます。汚染水放出に見られた近隣諸国と世界中の反発を、どうとらえるのですか? 猛反省をして、共に脱原発を。
以上

脱原発青空テント川柳句会の報告

12時より脱原発青空テント川柳句会が開催されました。先週と打って変わって気温も24℃まで上がり、暑いくらいの陽が射す一日でした。今回の川柳句会参加者は6名。席題は「人生」「商品券」。14時30分、投句締め切り。14時45分より、入選者の発表、披講となりました。選者の乱鬼龍さんより入選句が読み上げられ、「原発は未完の技術」みかん、「こんな日本たたき売りに出したい」バナナ、「イカにも！」いかの缶詰、「活動のノリを良くしよう」味付け海苔、雑誌「季節」2025年春号など、数々の賞品が入選者へ手渡されました。

句会の後には、日比谷公園にてお花見の会を行いました。桜の花の開花宣言前となりましたが、ちよっとだけ咲き初めた桜の下9人でお花見をしました。入選句は以下のとおりです。



「人生」の特選

・ 人生は光と闇のせめぎあい ・ 海の民

「人生」の秀句

- ・ 甘い蜜吸おうと思って八十年 ・ 水蓮仏
- ・ 世襲議員 人生の辛さ知ってるか ・ 幸柳
- ・ フクシマの子ら元服し 追う夢は ・ ふ64
- ・ 人生は谷間ばかりを歩いたよ ・ 原子力ガリレオ
- ・ 不幸不幸数えず過ぎて半世紀 ・ 芒野

「商品券」の特選

・ 尽力と言うなら皆にバラ撒いて ・ 芒野

「商品券」の秀句

- ・ 配ります商品券で人集め ・ 原子力ガリレオ
 - ・ 金権政治改めました金券に ・ ふ64
 - ・ 物価高もらってみたいいな商品券 ・ 幸柳
 - ・ 下野するしかない 自民の政治文化商品券 ・ 海の民
 - ・ 商品券もらって返すアホ議員 ・ 水蓮仏
- 次回の脱原発青空テントひろば川柳句会は、4月27日(日)12時より開催いたします。是非ご参加ください。(S.E)

編集後記

病気療養中だった富久亮輔さんが先月21日、79歳で他界されました。

◎3月31日、京王・南大沢駅に12時半の集合予定、筆者は遅れること12時40分すぎに到着し、町田市の南多摩斎場で富久さん火葬に参加。経産省前テントひろばから山本、嶋田、城田、平岡、江田、木村の各氏が参列し午後3時過ぎに解散となって、南大沢駅前の店で富久さんを偲ぶ思い出話に花が咲く。



29日、入院されている三上氏を見舞う。「僕の方は放射線治療が終わり、退院が具体化する予定。今週中には確定するが、4月の12日の週(第三週)あたりになるでしょう」とのこと。

◎先月には、2019年3月に亡くなられた淵上太郎さんの未亡人・淵上正子さんが昨年来、体調を崩して入院されていて、2月26日に入院先で亡くなられたとの連絡があった。先月7日午前に火葬に付されたとのこと。

この間、「世界を動かす変革の力」(アリシア・ガーザ著、明石書店、2021年発行)という書籍を読む。

◎これはアメリカのブラック・ライブズ・マター・グローバル・ネットワーク共同代表からのメッセージである。著者ガーザさんは、1980年代にアメリカに生まれ、国家による黒人への暴力や抑圧を撲滅するための国際的な組織化プロジェクトとしてネットワークを立ち上げた黒人女性。本書では、「私たちはどこから来たのか」(第1部)、「新しい世代の出現」(第2部)に続く第3部で、「BML運動」を国際的に発展させるために、「次の運動に向けて」という以下のアピールが以下のように書かれている。

◎ひとつ、「今日、運動と名の付くものの多くは、真の運動ではない。女性が人間らしく生きること、トランスジェンダーの人々の殺害、動物の権利、高齢者介護など、自分たちが情熱をもっている課題について運動を始めるにはどうしたらいいか、と聞かれることがよくある。わたしの答えいつも同じだ。自分と同じことを大事に思っている人を見つけて、その人たちと連帯しなさい、と。」

◎ふたつ、「変革とは、ごく少数の特別な人たちが、突然、奇跡のように何百万もの人々を動かして起こる、と信じている人が多い。しかし実際は、何百万という人々が一定期間、時には何世代にもわたり

継続的に関わり、献身的に打ち込んでいるから起きるものだ。」◎みつつ、「組織は、運動にとって決定的に重要な構成要素である。人々が居場所となるコミュニティを見つける場所であり、自分たちの周りで何が起きているのか、それがなぜ起きているのかを学ぶ場所である。そして、それによって誰が得をし、誰が害を被るのかを学ぶ場所である。」

◎14年を経過したテントひろばの脱原発運動は、いまこそ脱原発を世界にアピールするために、彼女のメッセージを「変革の力」として利用すべきではないだろうか。(EO)

集会・行動予定

- ◆4月2日(水) 12時~13時 原子力規制委員会前抗議行動(毎週水曜)
- ◆同日 17時~17時45分 日本原電本店前抗議 18時45分~19時45分 東電本店前抗議
- ◆4月4日(金) 17時~18時 経産省前抗議集会 主催：経産省前テントひろば 経産省正門前 ◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12~16時(月~木)、13~17時(金)、土・日・休日:12~15時◎
- ◆4月18日(金) 18時半~19時45分 首相官邸前 原発いらぬ金曜行動 主催：原発いらぬ金曜行動・実行委員会
- ◆4月27日(日) 12時~15時 青空川柳句会 経産省前テントひろば

≪経産省前テントひろば≫
 住所:〒105-0003 港区西新橋1-21-8 新虎ビル2F
 ・電話:070-6473-1947
 ・郵便振替口座=00160-3-267170
 ・口座名義=経済産業省前テントひろば
 WEB:<http://tentohiroba.tumblr.com/>
 Mail address:tentohiroba@gmail.com